

平成26年10月29日(水)

障害者雇用促進セミナー 支援者報告

～精神障がいの特性を踏まえた就労支援～

医療法人社団 原クリニック
仙台メンタルヘルスサービス
就労移行支援事業部

1

医療法人社団 原クリニック 概要

- 所在地:宮城県仙台市青葉区昭和町2-25
- 設立:1988年9月 開院
- 事業内容:
 - * 診療部門(精神科)
 - * 地域医療部 * カウンセリング
 - * デイケア * ナイトケア
 - * 障害福祉サービス事業所
仙台メンタルヘルスサービス
(就労継続B・就労移行支援)
- ◆関連事業
 - * 一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ
 - * 日本精神科診療所協会こころのケアチーム

2

障害福祉サービス事業所 仙台メンタルヘルスサービス

多機能型 定員40名 (平成18年12月1日 開設)

■就労継続支援B型
(既存の精神障害者小規模作業所から移行)

- ・ 昭和町 10名→20名
- ・ 雨宮 10名
- ・ みなみ 10名→0名

} 定員30名

■就労移行支援(新規設立。メンバーも別途募集)

- ・ 就労移行支援事業部 定員10名

3

当就労移行支援事業所 利用者の状況(平成26年10月現在)

人数	平均年齢(才)	訓練期間(月)	疾患別	人数	
男	7	35	8か月	統合失調症	3
女	0	—	—	強迫性障害	2
計	7	35	8か月	広汎性発達障害	1
				反復性うつ病性障害	1

4

精神しょうがい特性

- ・ 不安・・・過去の失敗体験・社会からの偏見
- ・ 一人で悩みを抱えてしまう
- ・ 一歩踏み出すまでに、時間がかかる

- * 環境適応の困難さ
- * 認知のしょうがい
- * 陰性症状としての意欲の低下
- * コミュニケーションの困難さ
- * 社会経験の不足(二次的なしょうがい)
- * 汎化しにくい

現実検討が必要

訓練を通して本人と支援者が共有!

5

基礎実習・職場実習・求職活動

希望

ズレ

実際

長く安定して働きたい！
事務職に就きたい！

現実検討

毎日通所できない
指示が分からない

課題設定

実習

振り返り

課題の整理

※心理テストの結果も参考に

6

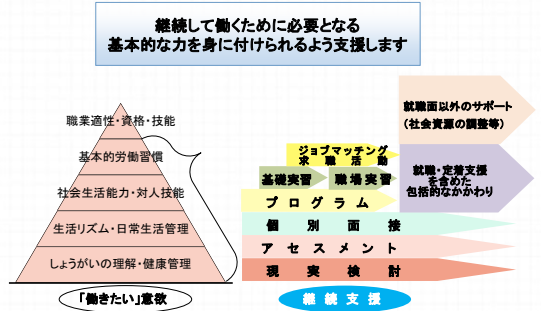
スタートのきっかけ作り

デイケア・継続B型の利用 「出来なかったことが、できる様になった！」 ⇒ 自信 「次は働いてみたい！」 ⇒ 自ら目標設定	デイケアと共通のプログラムを利用 「就労移行は、こんなこととしてるんだ！」 ⇒ イメージのしやすさ 「デイケアOBと一緒に」 ⇒ 安心感・馴染みややすさ	医療や家族との連携 「チャレンジしてみたら？」 ⇒ 後押し 「大丈夫だよ」 ⇒ 見守り
---	---	--

- * 生活リズム、体力等の準備性がまだ十分に整わない方
- * 一歩踏み出したいが、不安のある方
- * 「就労」というキーワードに興味のある方
...など、幅広く受け入れている

7

訓練の目的と流れ



8

プログラム ～精神しょうがいの特性に合わせて～

健康管理 体質改善プログラム ・自分の体に目をつける ・食生活の見直し、運動 リラクゼーションプログラム ・体の状態を知る(療労員会) ・気持ちと体のほくし方を知る	基本的な労働習慣の修得 外部講師の講義 ・電話応対、姿勢、お辞儀の仕方 ・ビジネスマナーの修得 面接の練習、履歴書の書き方 職場見学、職場体験、実習 ・挨拶・報告・連絡・相談
リフレッシュ スポーツプログラム (卓球、テニス等) ・ストレス発散 ・仲間との交流 ・運動不足解消	考えを広げる SST ・職場での基本的コミュニケーションの練習 グループミーティング ・余暇の過ごし方、目標・体調の確認 ジョブトーク ・1人で悩まず、皆の意見を聞く ピア OB・OG会 (カラオケ、茶話会等) ・季節行事⇒幹事、会計等の役割体験 ・楽しみ ・仲間との交流 ・働いている人の話を聞く⇒イメージ作り

雇用定着支援 ～当事業所の取り組み～

集中支援期 ・ジョブコーチが同行し、業務・指示系統の確認などを共に行い、職場環境へのスムーズな適応を目指す。
定着支援期 ・本人の職場における自立度、職場環境への適応の様子に合わせ、職場におけるジョブコーチの支援を計画的に減らしていく。
フォローアップ期 ・職場の方の援助を中心に、本人の職場における自立度が高まることを目指す。本人の職業生活の支援を継続して行う。

10

支援内容① 具体的なイメージ作り

- きっかけ: 雇用前見学会に他メンバーが参加
(仙台市障害者就労支援センター主催)
- 本人の**特性**に仕事内容がマッチ
- ・手先が器用 早くて正確
 - ・反復単純作業が得意
 - ・コミュニケーションが苦手
 - ・不特定多数の人が出入りする環境がストレス
- 本人に雇用前実習参加を打診

見学时に写真を撮ってくる ⇒ 視覚的に捉えられる
メンバーの体験を聞く ⇒ 安心感

11

支援内容② 雇用前実習・採用面接同行

- 〈実習〉
 業務内容の確認
 指示系統の確認
 環境面・・・ 人的(職場の方・同僚・人の出入り)
 物的(車通勤)
- 〈面接〉
 安心感
 補足事項

12

支援内容③ 雇用～1か月

職場の本人に対する期待度↑
(実習と雇用後のギャップ)
職業人としての心構え

プレッシャー→→→

↓

就労支援センター・他事業所支援者と共に訪問
(改めて障害特性や対応など説明の機会を頂く)

反省点: 一緒に作業する現場の方への説明不足

支援内容④ 定着支援

- 個人面接(月1回)
業務面、生活面、体調の確認
- 欠勤時対応
本人からの聞き取り→連絡調整(職場・主治医)
- 職場訪問・振返り(隔週→月1回→2ヶ月に1回)
状況把握・調整
- 事業所プログラム・OB会参加
リフレッシュの場として
- 家族からの聞き取り

精神障害を持つ方の特性

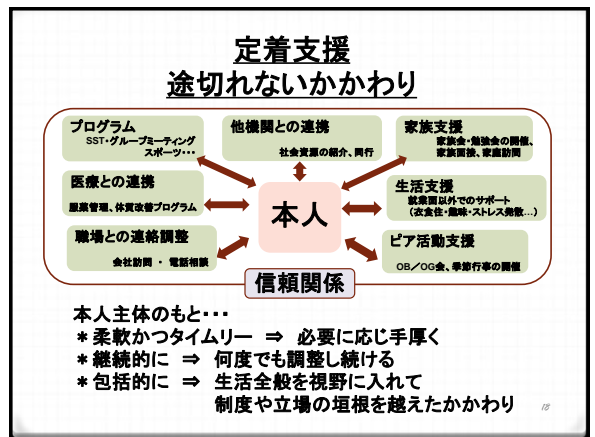
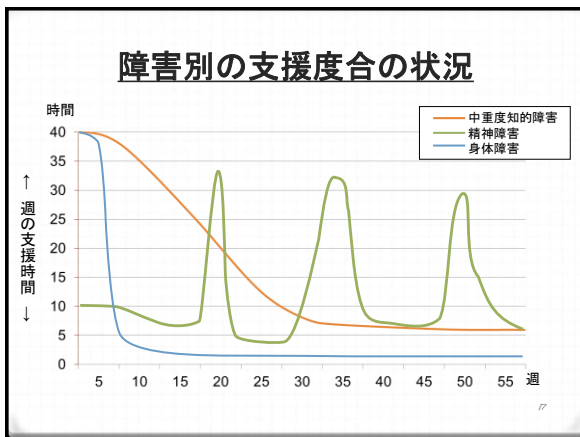
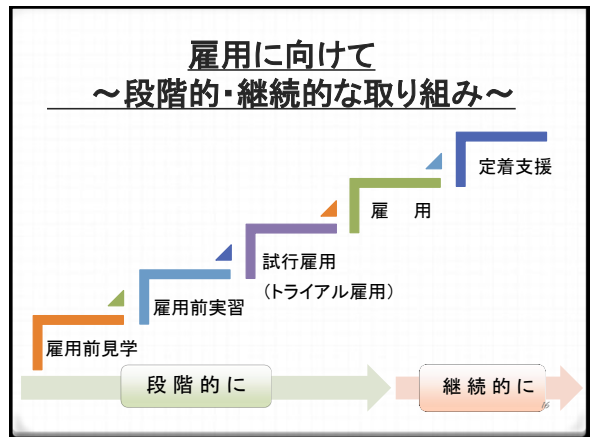
環境に慣れるまでに時間がかかる
はじめは疲れやすくストレスを感じやすい
スピーディーに作業することが難しい
緊張しやすく、コミュニケーションが苦手

しかし、

徐々に職場環境に慣れる ⇒ **段階的な支援**
就職後も、定期的な訪問・面接を行う ⇒ **継続的な支援**

↓

改善が十分可能



。。。ご清聴ありがとうございました。。。
14